

科目名	教育実習		
担当教員名	島村 豊博、向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	1
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教科教育法や教科関連科目によって習得してきた知識・理論・方法論を踏まえた上で、実際に教育実習を行うにあたって具体的な事前、中間、事後の指導を行う。この指導により参観実習および教壇実習の成果を最大限に引き出し、教員を目指すものとしての責任を自覚させ、実際の授業運営能力を向上させることをねらいとする。

内容

1. 事前指導

- (1) 教育実習オリエンテーション
- (2) 実習時における勤務・サービスの心得
- (3) 実習記録の作成法
- (4) 配当科目についての最終的な指導案作成
- (5) 実習校訪問

2. 中間指導

- (1) 前期実習を振り返っての反省会
- (2) 実習日誌の中間提出
- (3) 後期実習に向けての指導

3. 事後指導

- (1) 教育実習総括反省会の実施
- (2) 実習校訪問

評価

授業への出席、教材研究や模擬授業課題の状況、教員としての心構えの理解や授業運営能力などについて評価を行う。評価は、模擬授業40点、教材研究20点、レポート20点、実習20点により行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業の際に指示する。

科目名	教育実習		
担当教員名	島村 豊博、向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(情報) / 中学校教諭一種免許状(社会) / 高等学校教諭一種免許状(公民) / 高等学校教諭一種免許状(英語) / 中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 教科関連科目・教科教育法、教育実習 で修得してきたことをふまえて、教育実習 では実際に授業を担当する。これまでに習得してきた教科、授業方法等に関する受動的な知識を実践的な知識に変換し、教員を目指す者としての実践的能力をつける。
2. 学校現場での、実際の勤務経験を通して、自身の教職についての適性を見極める。 なお、本科目は、教員免許法に定める「教育実習」のうち、中学校一種「英語科」の前期実習(必修)、高等学校一種「英語科」(3週間以上の実習期間の者を対象とする)前期実習(選択)である。

内容

協力校における3週間以上の参観実習および教壇実習からなる授業担当による教育実習を行い、専門教科の教授法だけでなく、ホームルーム等を通じてクラス管理のノウハウも学ぶ。

評価

実習校からの評価資料及び「教育実習日誌」等の資料に基づき評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず、必要な場合はプリントを配布する。推薦書は適宜授業中に紹介する。

科目名	教育実習		
担当教員名	島村 豊博、向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

- 1．教科関連科目・教科教育法、教育実習 で修得してきたことをふまえて、教育実習 では実際に授業を担当する。これまでに修得してきた教科、授業方法等に関する受動的な知識を実践的な知識に変換し、教員を目指す者としての実践的能力をつける。
- 2．学校現場での、実際の勤務経験を通して、自身の教職についての適性を見極める。

内容

協力校における2週間の授業担当による教育実習を行う。

評価

実習校からの評価資料及び「教育実習日誌」等の資料に基づき評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

テキストは使用せず、必要な場合はプリントを配布する。推薦書は適宜授業中に紹介する。

科目名	教職演習		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報） / 中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民） / 高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

内容

評価

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

科目名	倫理学		
担当教員名	田子山 和歌子		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭一種免許状（社会） / 高等学校教諭一種免許状（公民）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

本科目は、教員免許法施行規則に定める、中学1種「社会」・高校1種「公民」の「教科に関する科目」中の2単位分（選択科目）に対応する。教職課程のみの特設科目である。

科目の概要

本科目では、高等学校公民科「倫理」・「現代社会」の指導に必要な、思想史の通史を学ぶとともに、高等学校公民科「倫理」の目標・内容と指導法の基礎を学ぶ。

学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 高等学校公民科「倫理」の構成内容を理解する。 「倫理」の授業展開のための指導案を作成できるようになる。 「倫理」の実際の授業を行う技能を身につけることができる。

内容

1	高等学校公民科「倫理」における「先哲学習」の位置づけについて
2	古代ギリシアの思想 初期キリスト教の成立と展開
3	初期イスラム教の成立と展開
4	初期仏教の成立と展開
5	奈良時代における仏教受容 平安仏教と鎌倉仏教
6	諸子百家の思想 朱子学と陽明学
7	日本における朱子学の受容と封建教学の形成
8	イギリス経験論と大陸合理論
9	ドイツ観念論哲学
10	功利主義と実存主義
11	近代日本における西洋思想の受容
12	「倫理」指導案の作成
13	先哲学習における資料活用の方法
14	模擬授業の実施 授業分析
15	まとめ

評価

指導案作成課題50：筆記試験50の比率で評価（100点満点）し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト】文部科学省『高等学校学習指導要領』および『公民科解説書』、「倫理」・「現代社会」の検定済み教科書を

テキストとして使用する。

【参考図書】その他参考図書については、授業中に適宜指示する。

科目名	教職実践演習（中・高）		
担当教員名	向後 朋美、安達 一寿、島村 豊博、亀田 温子 他		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-教職課程		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

教職課程での学びの集大成として、将来教員になる上での自らの課題の発見、不足している知識や技能の補完と定着をねらいとして、教職生活を円滑にスタートするために必要な演習を行う。

授業内容は、(i)使命感や責任感、教育的愛情に関する事項、(ii)社会性や対人間関係能力に関する事項、(iii)生徒理解や学級経営に関する事項、(iv)教科内容等の指導力に関する事項で構成する。

内容

1	オリエンテーション、これまでの教職課程の振り返る（講義、全体討議）
2	教職の意義・役割・職務内容、子どもに対する責任について理解する
3	教育に関する問題点、社会からの要請を考える（調査演習・グループ討議）
4	教育に関する問題点・自らの課題を発見する（現地調査）
5	自己課題とテーマを発表する（プレゼンテーション、レポート）
6	生徒の生活環境・教育環境を知る（グループ調査演習、事例研究）
7	現在の生徒像からみた望ましい学級経営案の検討（グループ討議・イベント企画）
8	生徒の進路指導に関わる社会情勢の調査と理解（グループ調査演習・ロールプレイ）
9	学級経営案を発表する（プレゼンテーション、レポート）
10	教育実習の振り返りと教科の指導力を考える（講義、グループ討議）
11	教育内容の基本的事項の確認（個人演習）
12	教育方法の基本的事項の確認（個人演習）
13	模擬授業
14	模擬授業
15	レポート

評価

レポート課題（3回程度）、プレゼンテーション、討議におけるパフォーマンスを総合的に評価し、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に指定しない